

多喜二終焉の地・築地にモニュメントを！

# 小林多喜二 没後 90 年 追悼 東京大集会—築地多喜二祭

## 2/23 (木・祝日)

開会 14:00～ (開場 13:30)

【会場】

日本橋公会堂 2 階会議室 (定員 120 名)

【資料代】500 円

※検温・マスク着用の上、ご来場ください。



### program

開会あいさつ

連帯メッセージの紹介

DVD「燃やし続けた炎」上映 (治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟制作/26 分)

### 記念講演「多喜二文学の世界への広がり」

お話：荻野富士夫さん (小樽商科大学名誉教授)



1975 年、早稲田大学文学部卒業。専攻は日本近現代史。『特高警察』『思想検事』(岩波新書)、『小林多喜二の手紙』(岩波文庫)、『戦前文部省の治安機能—「思想統制」から「教学錬成」へ』(校倉書房)、『治安維持法—その成立と「改正」史』(新刊/六花出版) など著書多数。

「近年明らかにされた「ロマン・ロランによる小林多喜二虐殺抗議」の真相のほか、多喜二の朝鮮の友人の回想、1939 年に『蟹工船』が海外への日本文学紹介のなかで取りあげられていたことなどを紹介します。」(荻野)

プロレタリア作家として、社会改革者として活躍していた小林多喜二は 1933 年 2 月 20 日、卑劣なスパイの手引きにより治安維持法違反容疑で特高警察に捕まり、拷問によって、わずか 29 歳でこの世を去りました。終焉の地は、多喜二も何度も訪れた築地小劇場があった築地です。日本が満州事変で中国への侵略を開始して 2 年後のことでした。ロシアのウクライナ侵略や台湾海峡の緊張を口実に大軍拡・大增税が進められようとしている今、多喜二を現代によみがえらせ、皆さんとともに戦争と平和について考えたいと思います。

主催：「小林多喜二没後 90 年追悼 東京大集会—築地多喜二祭」実行委員会

後援：「平和をねがう中央区民の戦争展」実行委員会

問合せ先：090-4077-2282 (福田) [pcdepot09162@ozzio.jp](mailto:pcdepot09162@ozzio.jp)

フィールドワーク「多喜二と築地」ご案内 (定員 15 名)

2 月 23 日 (木) 午前 11 時に中央区役所前 (有楽町線新富町駅 1 番出口徒歩 1 分) に集合。多喜二が逮捕・拷問された築地警察署→死亡が確認された前田医院→多喜二が度々訪れ、多喜二の労農葬も行われた築地小劇場跡まで約 1 時間のコースです。無料。参加希望者は事前に福田 (090-4077-2282) までご連絡ください。